

「つんからつん」…「次から次へ」という意味の富山弁。スタッフの素顔やお気に入りの場所を、次から次にご紹介していくコーナーです。

千葉県出身で、小学生の頃から18年間野球を続けてきたスポーツマン。祖父、父ともに整形外科医で、さらに高校生の時に「スポーツドクター」の存在を知ったことが医師を目指すきっかけになったそうです。その後研修などを通して子供から高齢者まで様々な患者さんと接するうち、スポーツに限らず幅広く貢献したいと考えるようになり、現在は患者さんから信頼される医師を目指して奮闘しています。最もやりがいを感じるのは、患者さんの症状が回復していく姿が見られたとき。一人ひとりの訴えに耳を傾け、少しでも痛みや辛さに寄り添うことを心がけています。

学生時代を富山で過ごした縁もあり、今年度西能病院に赴任した茂手木医師。「西能病院は職種の垣根なくコミュニケーションが取れてチームワークが良い」と語ります。勤務外では五省会の野球部、フットサル部、マラソン部などをかけもちし様々なスポーツに挑戦。「スポーツでは上手い選手のフォームをまねるのが上達のコツですが、仕事も同じだと思っています。尊敬できる先輩医師の手法や患者さんへの誠実な接し方を参考にするなど、学ぶ姿勢を大事にしています」と、スポーツで培った向上心や心構えが、仕事へ真摯に向き合う姿勢に表れています。

つんからつん。

もてぎ こうすけ  
茂手木 皓介 医師  
西能病院 整形外科 専攻医

4月に千葉大学から専攻医として着任した茂手木医師。1年間、西能病院で専門分野について経験を積んでいます。

## 整形外科医を志した学生時代

## スポーツで培った意識を生かして



ON

患者さんの痛みに  
寄り添う診察を



五省会野球部の  
メンバーと！

自然豊かな富山の  
サウナ施設を満喫中♪

OFF

